

自然栽培によるトマトとナスの ウォーターフットプリント



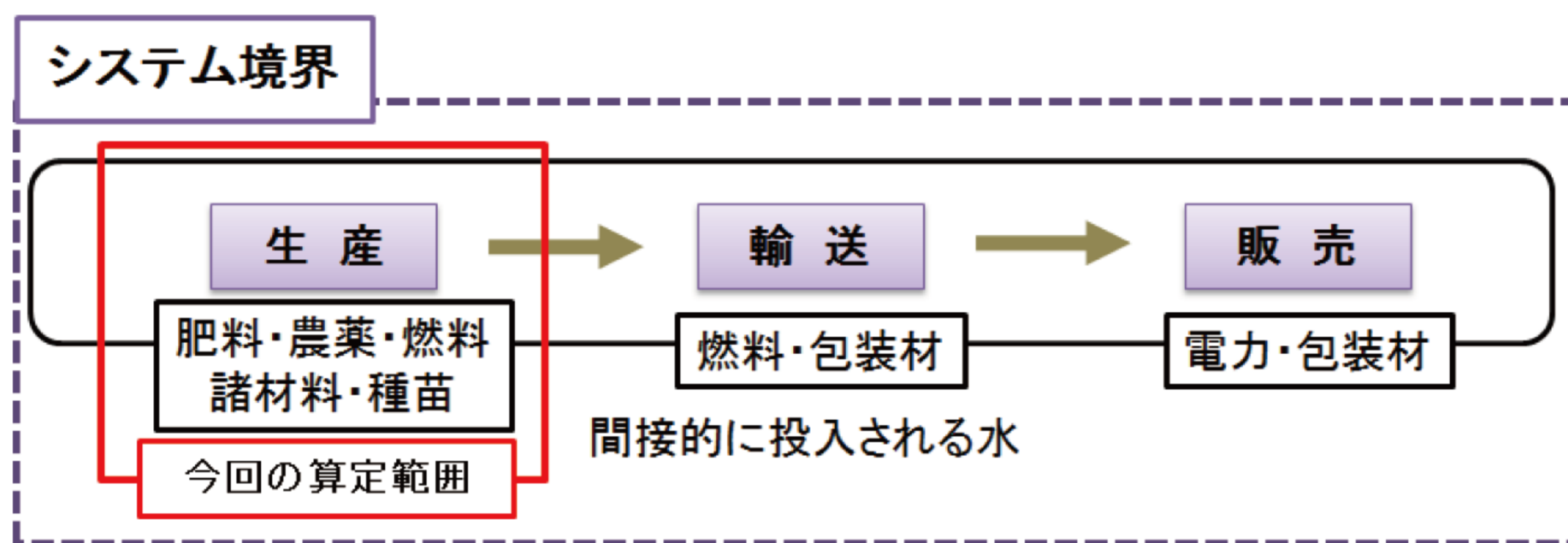
対象商品紹介

近年では無農薬・無肥料で実施する自然栽培が注目され、環境配慮の面でも関心が集まっている。自然栽培で作られたトマトとナスのウォーターフットプリントを算出するとともに、慣行栽培や有機栽培との比較検討を行う。



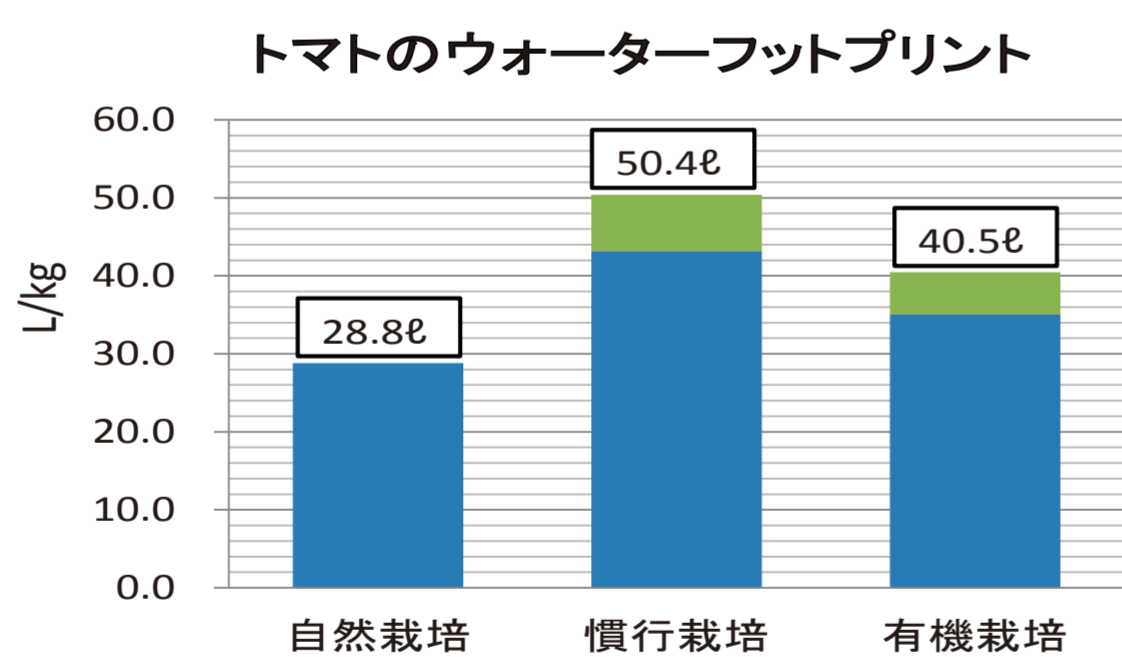
算定範囲 (バウンダリー)

自然栽培・慣行栽培・有機栽培の野菜の生産にともなう水消費量

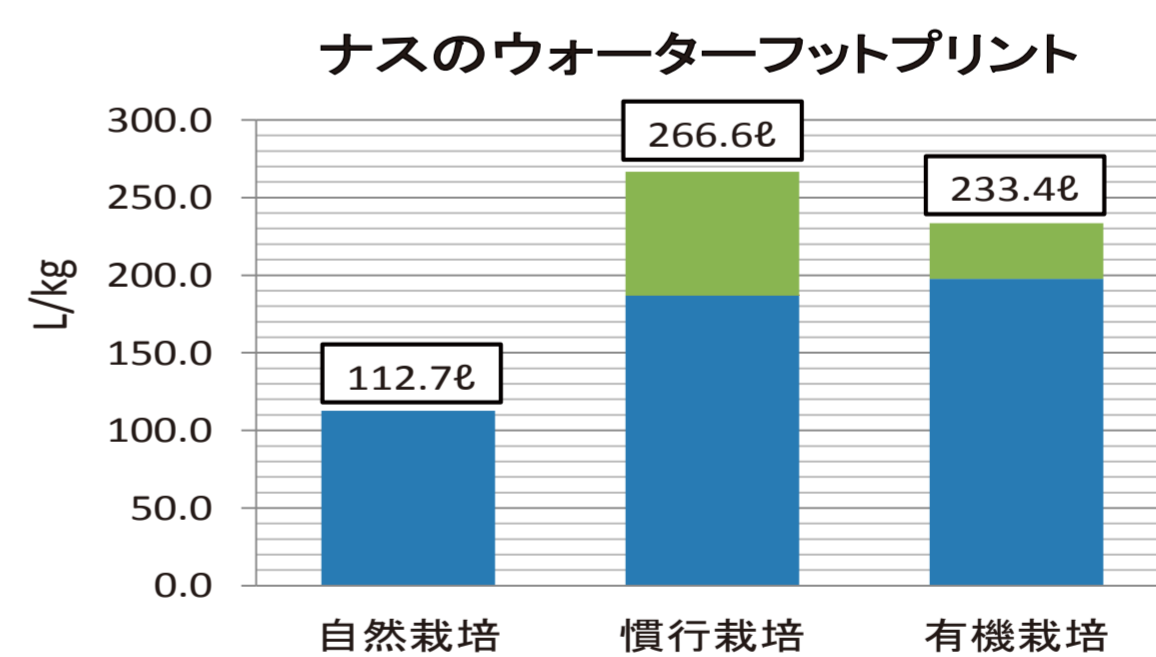


算定結果

水消費量は大きい順に、慣行栽培 > 有機栽培 > 自然栽培 という結果となった。肥料の使用量が結果に大きく影響を与えることが分かる。



L/kg	作物生産由来の水消費	農業生産由来の水消費	肥料生産由来の水消費
自然栽培	28.8	0	0
慣行栽培	43.2	0.017	7.2
有機栽培	35.1	0.003	5.4



L/kg	作物生産由来の水消費	農業生産由来の水消費	肥料生産由来の水消費
自然栽培	112.7	0	0
慣行栽培	186.7	0.046	79.8
有機栽培	197.5	0	35.9

算定によるアピールポイント

自然栽培による野菜のウォーターフットプリントを算出し、環境情報を定量化することで、慣行栽培および有機栽培で生産される同野菜との環境優位性の比較が可能となった。

算定根拠

- ①国際連合食糧農業機関, Chapter 6 - ETc - Single crop coefficient, 国際連合食糧農業機関ホームページ, 入手先 <<http://www.fao.org/docrep/X0490E/x0490e0b.htm>>
- ②農業環境技術研究所, モデル結合同型作物気象データベース (Meteo Crop DB), 農業環境技術研究所ホームページ, 入手先 <<http://meteocrop.dc.affrc.go.jp>>
- ③小野雄也, 堀口健, 伊坪徳宏 産業連関分析を用いた日本におけるウォーターフットプリント原単位データベースの開発, 伊坪研究室ホームページ, 入手先 <<http://www.yc.tcu.ac.jp/~itsubo-lab/>>